

公益社団法人 東京生薬協会

令和 6 年度

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

事業報告書

I. 令和6年度 事業報告

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会

（学術委員会）

① 春の薬草観察会

（事業管理委員会）

- ・開催日：令和6年4月20日（土）10:00～15:00
- ・場 所：都立小山内裏公園（東京都八王子市・町田市）
- ・講 師：南雲 清二、福田 達男（敬称略）
- ・参加者：24名

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和6年9月28日（土）10:00～15:00
- ・場 所：長沼公園（東京都八王子市）
- ・講 師：南雲 清二、福田 達男（敬称略）

※雨天につき中止

2) 薬草収穫感謝の会

（総務委員会）

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和6年11月2日（土）9:45～13:00
- ・場 所：東京都薬用植物園 研修室
- ・講 師：二井 康夫（元杏林製薬執行役員、(公財)日本アレルギー協会 広報担当）
- ・演 題：植物と音楽
- ・内 容：「植物と音楽」をテーマに、学術講演とプロアマ演奏家によるビッグバンド
- ・参加者：103名受講
- ・入園者：601名
- ・記念品配布者数：350名、(お土産袋 350袋)

3) 第39回 生薬に関する懇談会の開催

（学術委員会）

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催

- ・共 催：(一社)日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：令和6年10月5日（土）12:30～18:00
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：大棗・酸棗仁
- ・参加者：169名

4) 薬用植物・生薬・漢方に関する講座

（学術委員会）

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、

薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう開催

- ・開催日：令和6年8月～令和6年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月18日（日）	生薬のチカラは、漢方のチカラⅤ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	おなかの不調に効く漢方 北里大学東洋医学研究所漢方鍼灸治療 センター長 星野 卓之先生	58
【第2回】 9月29日（日）	歯科領域で使用される漢方 日本大学薬学部 教授 松崎 桂一先生	日本漢方における湯液治療の実際 医療法人社団金匱会診療所理事薬局長 針ヶ谷 哲也先生	52
【第3回】 10月27日（日）	江戸時代の看護書『病家須知』の著者、 平野重誠に学ぶセルフケアと医療 北里大学薬学部 東洋医学総合研究所長 小林 義典先生	気分面に働く漢方Ⅲ 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰先生	48
【第4回】 11月24日（日）	生薬の基礎から薬膳までⅢ 城西大学薬学部 元教授 白瀧 義明先生	女性の漢方Ⅳ ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	51
【第5回】 12月15日（日）	水の異常の話～水毒を改善～ 東邦大学薬学部 名誉教授 小池 一男先生	不老不死はいにしえからの願い ～漢方で健康長寿をめざそう～ 東海大学医学部 客員教授 新井 信先生	54

合計 263

5) 第17回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

（事務局）

- ・主 催：（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会
（公社）東京都医薬品登録販売者協会
- ・後 援：厚生労働省、東京都、千代田区、（公社）東京都医師会、（公社）東京都薬剤師会
- ・開催日：令和6年10月4日（金）～5日（土）
- ・形 式：神田明神・文化交流館＋YouTube 同時生配信
- ・出展社：30社
- ・内 容：出展企業プレゼンテーション（14社）
- ・スペシャル講演：東京都医師会長 尾崎治夫先生
「セルフメディケーションとそれを果たすOTC医薬品の役割」
- ・参加者：来場者4,200名、サイトアクセス数32,176回

6) 会報の発行（7月、1月）

（広報委員会）

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行した。
- ・発行部数：7月(450部)、1月(HP掲載)＊1月よりオンライン掲載とした。

7) 協会ホームページの更新

（広報委員会）

- ・「季節の花」「イベント情報」「新常用和漢薬集」「薬用植物・生薬・漢方に関する講座」等、引き続き最新情報の提供とコンテンツの充実を図った。また採択中の「江戸東京きりぎりプロジェクト」に関連し、新たなプロモーション動画1本の制作とWeb公開を通じ、セルフメディケーションへの取組みの一層の周知につとめた。

年度通期のページビュー数は、対前年度比で約115%、対一昨年度比では約109%と、概ねアクセス増加傾向を示している。

- ・表1：ホームページへのアクセス状況

期 間	ページビュー数
1Q：2024/04/01～2024/06/30	223,956
2Q：2024/07/01～2024/09/30	162,215
3Q：2024/10/01～2024/12/31	170,916
4Q：2025/01/01～2025/03/31	114,395
2024（令和6）年度 通期合計	671,482
前年度 1Q	195,803
前年度 2Q	121,882
前年度 3Q	146,865
前年度 4Q	122,061
2023（令和5）年度 通期合計	586,611
対前年度比	114.5%
2022（令和4）年度 通期合計	614,031
対一昨年度比	109.4%

アクセスの多かったコンテンツ上位5項目を「表2」に示す。

「新常用和漢薬集：個別生薬」および「季節の花」の内訳を、独自の計数システムで継続的にモニタリングしている。これら上位各10位を「表3」「表4」に示す。

- ・表2：令和6年度通期 アクセス上位コンテンツ TOP5

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集：個別生薬合計＊	337,655
季節の花：すべての合計＊	173,126
新常用和漢薬集：目次	33,524
トップページ	23,955
新常用和漢薬集：処方一覧	15,796

・表 3：令和 6 年度通期「新常用和漢薬集」掲載生薬のアクセス TOP10

生薬名	ページビュー数
ダイオウ	12,353
カンゾウ	11,610
ブクリョウ	11,597
オウバク	10,331
マオウ	10,329
ケツメイシ	8,269
キョウニン	7,896
センナ	7,538
ジオウ	7,344
オウレン	7,326

・表 4：令和 6 年度通期「季節の花」掲載植物のアクセス TOP10

植物名	ページビュー数
クソニンジン	8,073
オナモミ	5,083
ロウバイ	5,019
ノカンゾウ	4,384
ミミガタテンナンショウ	4,347
キクイモモドキ	3,823
サンシュユ	3,510
セリバオウレン	3,200
カンレンボク	3,134
セツブンソウ	2,955

- ・協会ホームページの内容拡充

「歴史・沿革」のカテゴリー新設→総務委員会および理事会の承認を得て公開。

公開後も、歴史的価値のある資料・情報を順次掲載し、70 余年にわたる協会活動のあゆみを広報周知するツールとして位置づける。

8) ふれあいガーデン事業

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・令和 6 年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の 3 者共同事業体にて、園内 400 m²を対象に薬用植物に関連した事業。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
5月	18日(土)	春の草花で草木染	山 浩美	18
	25日(土)	初夏の植物に親しむ～いろいろな角度から観察してみよう～	和田 浩志	45
6月	1日(土)	食香バラで作るローション	浦部 冬子	29
	15日(土)	ラベンダー香るハーブパッド作り	浅井 昭子	26
7月	6日(土)	季節の花を使ってミニブーケを作りましょう	田淵清美	中止
10月	5日(土)	秋色アレンジ	田淵清美	19
11月	9日(土)	多肉植物を育てましょう	山 浩美	26
	16日(土)	落語に見る食の風景 その8	一升亭吾介	61
	30日(土)	植物ガイドになろう！	鈴木 純	58
12月	12日(木)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子	39
	21日(土)	アジアンハーブワールド	山下 智道	67
3月	7日(金)	健康講座	東京薬事協会	55

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方（18局）と照合する改訂作業を実施中。公開品目数は、160生薬。

10) 江戸東京きらりプロジェクト

(事務局)

『生薬（薬草）をよく知って、セルフメディケーションをPR』

・生き生きと健康的な生活を持続し快適な人生を過ごすため、イベント等の機会を通じて、江戸の庶民の暮らしに密着していたセルフメディケーションの実践や、セルフメディケーションに果たす家庭薬など一般薬の役割、それらに活用されている生薬、生薬国内栽培事業の重要性や意義を普及啓発した。

① 薬草クイズ健康ラリー

- ・開催日時：令和6年8月25日（日）
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・参加者：140名

② トークイベント

- ・開催日時：令和6年9月21日（土）
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：須藤 慶一（元救心製薬株式会社取締役）
- ・演 題：家庭薬とセルフメディケーション
- ・参加者：65名

③ アンケート結果

来場者アンケート設問	イベント名	2023 年	2024 年	伸長率
Q1 セルフメディケーションという言葉はご存じでしたか？ (認知)	薬草クイズ健康ラリー	43.5%	55.7%	128%
	トークイベント	52.0%	73.3%	140%
Q2 イベントへの参加や動画の視聴を通じて、セルフメディケーションへの理解は深まりましたか？ (理解)	薬草クイズ健康ラリー	49.0%	89.3%	180%
	トークイベント	98.0%	88.3%	90%

④ 協会プロモーションビデオの制作

セルフメディケーションに関する紹介動画(5分30秒)を作成し、WEBサイトに掲載。1年目に制作した生薬栽培に関する紹介動画を改訂し、一般向けにセルフメディケーションの大切さを訴求する動画を制作。改訂部分では、東京都医師会の尾崎会長のインタビューを収録。セルフメディケーションの重要性やOTC(市販薬)医薬品で生薬製剤の利用をすることで体を整えることができ、副作用も少ない。それもセルフメディケーションのひとつであること等を語っている。

⑤ 動画視聴回数 YouTube 配信 配信期間:2024/11/1~11/14

視聴回数:185,755回、年齢は、「45~54歳」が最も多く、続いて「55~64歳」「65歳以上」が多い結果となった。

⑥ 事業費(事業に係る経費)は、東京都事務局から支援メンバー(制作会社)に支払われた。

*支援メンバー(制作会社):事業の内容への助言や遂行のサポートを行う。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応:開園時間帯における来園者対応 : 1,445 件

電話対応:開園時間帯における電話等照会対応: 918 件

園内管理:土、日、祝日対応:116 日

年間来園者数:97,461 人(対前年比 95.1%)

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他):延べ 1,661 人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、

トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務)：

延べ351人/年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：31日間実施、参加者数：2,223名

協会の応援人数延べ：71人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット 5,000部

写真で見る絶滅危惧種植物 0部

「四季の薬草」パンフレット 5,000部

講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類 2,551部

野外展示用ラベル及び立て札 350枚

ケシ講座 2,000部

アサ(大麻草)鑑別マニュアル 500部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1回	4月18日(木)	暮らしに活かす色の効果	田中 光子(色彩心理 カウンセラー)	104
2回	5月16日(木)	漢方で心も体も元気で長生き	新井 信(東海大学医 学部 教授)	107
3回	6月19日(水)	東京の森を歩く	福嶋 司(東京農工大 学 名誉教授)	108
4回	7月18日(木)	富士山の植物～五合目付近の植物～	磯田 進(公益社団法 人東京生薬協会)	75
5回	9月19日(木)	知っておきたい肥料の知識	倉本 倉司(21世紀の森 と広場・緑の相談員)	72
6回	10月18日(金)	もみじのいろは	加藤 祐一(日本植物 友の会参与)	82
7回	11月20日(水)	東洋医学における養生～名僧(沢庵、白隠)に学ぶ	小林 義典(北里大学 薬学部教授)	中止
8回	12月5日(木)	多様な植物園と歩き方	三宅 克典(東京薬科 大学 准教授)	90

(2) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	17 回	1,184 名
② 薬務、保健所等研修	12 回	195 名
③ 警察・薬防協等研修	24 回	495 名
④ 学生研修	7 回	252 名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2 回	135 名
⑥ 一般（団体）指導	4 回	122 名

3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環として、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換：種子調製・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培技術研修会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

①秋田県美郷町

開催日：令和6年10月29日（火）～30日（水）

(1) 《実地研修》

会場：前山試験圃場

実地研修の解説：ウラルカンゾウの試作栽培についての説明及びトラクターによる収穫

・カンゾウの収穫、キキョウの収穫（直播栽培試験）

・収穫カンゾウの甘みを体験

会場：坂本圃場

・今年度ポット苗を定植したカンゾウの見学

・カンゾウのストロン苗を直植え(直播法)の解説

(2) 《講義》

会場：美郷町役場3階 大会議室

薬用作物の栽培技術研修会（座学）として、2名の栽培指導員の講師による下記内容の研修を行った。

- ・カンゾウについて
- ・ウラルカンゾウの栽培品種作出と栽培法の検討

(3) 《実地研修》

会場：美郷町堆肥センター

- ・キキョウ・カンゾウの掘上後の調製作業
- ・収穫したカンゾウの説明

(4) 《講義》

会場：美郷町役場3階 大会議室

薬用作物の栽培技術研修会（座学）として、3名の講師による下記内容の研修を行った。

- ・キキョウ栽培について
- ・八峰町のキキョウ栽培
- ・美郷町のキキョウ栽培
- ・その他 アンケート結果（n=23）

評価:大変良かった 17名、まあまあ良かった 6名

日数:適当 21名、やや長い 1名、やや短い 1名

時期:適切 23名

レベル:適切 19名、やや高い 4名

カリキュラム:適切 9名、概ね適切 14名

参加者：28名

②大分県杵築市

開催日：令和6年11月21日（木）～22日（金）

(1) 《実地研修》キキョウ（調製）・ミシマサイコ（掘上作業）

会場：杵築市活性化センター

- ・実地研修の解説：キキョウの調製見学／分解・選別・皮むき・乾燥の解説

会場：山香試験圃場

- ・実地研修の解説：薬用植物、生薬について
- ・実地研修の解説：掘上、調製その他について

会場：トキワ圃場

- ・ミシマサイコ、キキョウ掘上解説実施

(2) 《講義》

会場：山香町農村環境改善センター 2階 大会議室

薬用作物の栽培技術研修会（座学）として、3名の先生による下記内容の研修を行った。

- ・キキョウ及びミシマサイコの栽培について
- ・杵築市における薬用作物栽培の推移

- ・副産物について
- ・アンケート結果（n=19）
 - 評価：大変良かった 12 名、まあまあ良かった 7 名
 - 日数：適当 16 名、やや長い 3 名
 - 時期：適切 19 名
 - レベル：適当 16 名、やや高い 2 名、高すぎる 1 名
 - カリキュラム：適切 7 名、概ね適切 10 名、どちらとも 1 名、やや不満 1 名
- 参加者：27 名

■ 3 号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動 （学術委員会）

- ① 生薬等(A)委員会：6月、9月、12月、3月に開催。
 - 小栗・神本氏（ツムラ）が参加
 - 委員会の議事メモが学術委員会に報告された
 - 新規収載案の主な審議案件は下記の通り
 - 第十九改正日本薬局方収載予定（施行予定：2026 年 4 月）
 - ・麻子仁丸エキス【定量，確認試験】
 - 第十九改正日本薬局方第一追補以降収載予定
 - ・麻黄附子細辛湯エキス【確認試験】
 - ・人参養栄湯エキス【定量，確認試験】
 - ・局外生規からの移行検討実施品目決定：キンギンカ、ショウバク、センナジツ、チクジョ
- ② 生薬等(B)委員会：5月、8月、10月、1月、3月に開催。
 - 青木氏（ツムラ）が参加
 - 委員会の議事メモが学術委員会に報告され、試験法案の追試等の対応がなされた
 - 改正案及び新規収載案の主な審議案件は下記の通り
 - 第十八改正日本薬局方第二追補収載予定（施行予定：2024 年 6 月）
 - [各条]
 - ・ゴシツ【確認試験】
 - 第十九改正日本薬局方収載予定（施行予定：2026 年 4 月）
 - [一般試験法]
 - ・試薬・試液「シリコーン樹脂」，「定量用インドメタシン」
 - [各条]
 - ・カノコソウ、カノコソウ末、センキュウ末、タンジン、ソヨウ、ウヤク、ヤクモソウ、トウニン、トウニン末、キョウニン、ダイオウ【性状】
 - ・センキュウ末【純度試験】
 - ・ブクリョウ、ブクリョウ末、セネガ、セネガ末【確認試験】
 - ・エンゴサクおよびエンゴサク末【定量法】
 - ・麻子仁丸エキス、抑肝散エキス、釣藤散エキス【定量，確認試験】
 - ・定量用サイコサポニン a、定量用サイコサポニン d、定量用サイコサポニン a,d

混合標準試液

・ボレイ【基原】

[他]

・日本薬局方原案作成要領 3.15 の改正

③ 局外生規 2026 作成 WG 及び日本薬局方外生薬規格に関する検討連絡会議

WG は 4 月、7 月、9 月、12 月に、検討連絡会議は 1 月に実施。各協会からの改正要望に基づき、主な審議案件は下記のとおり。

協会から WG には、新澤氏（イスクラ産業）・神本氏（ツムラ）が参加、検討連絡会議には原氏（イスクラ産業）・神本氏（ツムラ）が参加。

[既収載品目]

アカメガシワエキス、ゴオウ末、センナエキス、トウシンソウ、センナ、ベラドンナ、トウシンソウ

[新規収載品目]

ガラナ（ガラナシード）、ソウキセイ、タンズシ（タントウシ、ズシ、コウシ）、プランタゴ・オバタ種皮、トシシ、トシシ末

④ AMED 研究班：今年度より、これまで生薬等委員会の下部会議体として設置されていた検討班が整理され、新たに 5 つの検討班として設置された。以前は企業単位での参加であったが、新研究班においては、各協会からの派遣となった。

・性状、遺伝子班

8 月、1 月に開催。以下の生薬及び学名変更について報告、当研究班での審議結果に基づき生薬等委員会で審議。

検討生薬：トシシ、テンモンドウ、トウガラシ、ボレイ、オウヒ、チクジョ、トウニン（末）、キョウニン（末）、ダイオウ、ガイヨウ、ビャクジュツ、タンチクヨウ、キンギンカ、センキュウ末、ショウバク、センナジツ、ハンゲ

参加者：山路氏、小栗氏、張氏、谷畑氏（ツムラ）、佐藤氏（龍角散）、奥川氏（日本漢方製薬）、浦邊氏（フジリイソリウム）

・理化学試験法班

8 月、11 月、1 月に開催。以下の生薬及び灰分試験について報告、当研究班での審議結果に基づき生薬等委員会で審議。

検討生薬：カノコソウ、キョウカツ、ゲンチアナ、セネガ、ソウハクヒ、タイソウ、ブクリョウ、ウコン、オンジ、ゴオウ、ソボク、トウニン、キョウニン、チンピ、シャゼンシ

参加者：神本氏、江村氏（ツムラ）、佐藤氏（龍角散）、奥川氏（日本漢方製薬）

・安定性評価法検討班

10 月、2 月に開催。

現状では、元素不純物ガイドライン ICH Q3D において、生薬は適用範囲外となっている。日局では、生薬等について、化学薬品等と同じ枠組みで運用するものの、生薬等の事情に合わせた読み込みが可能な形での規格や品質評価法等の策定がな

されている。これらの規格や品質評価法は、科学の進歩や社会情勢の変化、また国際調和への対応状況等に合わせて適切に改正されることが必要とされている。

初年度は海外での基準や評価方法に関して、調査を行う。具体的にはヨーロッパ薬局方、アメリカ薬局方、香港生薬基準等における規格・規定の調査や分析方法についての文献調査を行う。また、これと並行して比色法や簡易ボルタンメトリー法などのヒ素及び重金属の個別測定についての文献調査及び測定条件検討等を行う。

参加者：佐藤氏（龍角散）、菊地氏（東京生薬協会）、奥川氏（日本漢方製薬）

・漢方処方エキス班

10月、2月に開催。方針説明及び人参養栄湯エキス(全5社)、麻子仁丸エキス(全6社)の規格及び試験方法の検討結果の報告及び要望等を含め、当研究班での審議結果に基づき生薬等A委員会では審議する。

人参養栄湯エキス及び五苓散エキスの展開溶媒の変更検討

標準溶液スポットの変更検討

人参養栄湯エキスのギンセノシド Rg_1 と Rg_2 を混ぜてスポットしても、エキスと同一の発色が得られていない。ギンセノシド Rg_2 試薬については、発色の相違と高価なことから、現状では指標成分とすることに疑問が呈された。

麻子仁丸エキスの麻子仁の確認試験の改正の指標成分は1,3-ジリノレインになる。

既収載エキスの日局優先収載候補品目の承認

柴胡加竜骨牡蠣湯及び桂枝加竜骨牡蠣湯

既収載エキス改正要望

大柴胡湯エキスと五苓散エキス

参加者：菊地氏（東京生薬協会）、奥川氏（日本漢方製薬）

・ガイドライン班

9月、3月に開催。本研究班は、生薬製剤に関するガイドラインの整備・改正を目的とし、厚労省とも連携して検討を進めている。対象は「ガイドラインでしか解決できない課題」に限定し、業界からの要望に基づき、緊急性・重要性を踏まえて優先順位を付けて取り組む。

現在の主な議題は、当帰川芎製剤の効能効果見直しや、単味生薬ガイダンスの改正。また、処方変更ガイドラインの整備やニクジュヨウエキスに関する検討、動物生薬ガイドラインの整備に関する課題も挙がっている。各団体は具体的な課題案の提出を求められている。

参加者：末次氏（東京生薬協会）、佐藤氏（龍角散）、原氏（イスクラ産業）

2) 薬用植物栽培連携協定更新

（事務局）

- ① 八峰町、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（3年）
- ② 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長（1年）

3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施

（事務局）

美郷町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹

- ・日 程：令和 6 年 7 月 7 日（日）
- ・開会式：美郷町住民活動センター
- ・植樹会場：旧花岡スキー場
- ・見学地：記念植樹(ホオノキ植樹)、薬用植物栽培地見学
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：11 名

4) 薬用動植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培
試作品目：カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ホオノキ、センブリ
津蟹（チュウゴクモクスガニ）
- ③ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、ハッカ、
シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、
カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、
オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ
- ④ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ハトムギ、カワラヨモギ、ジオウ、キキョウ
- ⑤ 大分県杵築市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、シャクヤク、コガネバナ、カワラヨモ
ギ、ジャノヒゲ、カンゾウ、キキョウ、カノコソウ、ハナスゲ、
ベニバナ、ムラサキ、キバナオウギ、メハジキ

5) 薬用作物等地域特産作物体制強化促進・全国的な支援体制の整備事業(国庫補助事業)

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 第 1 回栽培に関する情報交換検討会
 - ・開催日：令和 6 年 5 月 22 日(水) 13：30～15：45
 - ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田事務所＋オンライン
 - ・参加者：30 名
 - ・全国 4 自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、薬用動植物の国産化率向上を目指し、薬用作物の地域特産作物の生産性の向上や高品質化を図るため機械の改良(電気乾燥機、半自動乗用移植機)と栽培技術の指導及び需要拡大を図った。
- ② 第 2 回栽培に関する情報交換検討会
 - ・開催日：令和 7 年 3 月 17 日(月) 13：30～16：00
 - ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田事務所＋オンライン
 - ・参加者：28 名
 - ・全国 4 自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、技術拠点農場の実施結果、事業の評価、栽培指針、経営モデル、栽培暦、事業推進上の課題・対応策等を検討した。

6) 津蟹（チュウゴクモクズガニ）学術研究飼養

（事務局）

6年間の飼養が終了したので、上海ガニの脱皮殻を原料としたキチン・キトサン抽出を実施した。

抽出委託先：甲陽ケミカル株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-28-1

製造工程

① 原料の乾燥

上海ガニの脱皮殻 12.7kg（冷凍品）を加熱乾燥し、乾燥後の重量を測定。
乾燥後重量 3.1 kg, 水分 3.5%, 灰分 69%

② 脱タンパク工程

乾燥させた脱皮殻に 5wt% NaOH 91kg を投入。80℃で 3 時間攪拌。
その後、脱液、pH 調整を実施。

③ 脱カルシウム工程

pH 調整後、5wt% HCl 91kg を投入。32℃で 1 時間攪拌。
その後、複数回の水洗浄を実施。

④ 乾燥工程

脱カルシウム後に加熱乾燥を実施。
乾燥後重量 0.32 kg, 水分 1.9%, 灰分 0.79%、キチン含量 85.4%
キチン収率 10.3%

⑤ 脱アセチル化

乾燥させたキチンに 48wt% NaOH 45kg を投入。70℃で 15 時間攪拌。
その後、脱液し、複数回の水洗浄を実施。

⑥ 乾燥工程

脱アセチル化後に加熱乾燥を実施。
乾燥後重量 0.23 kg, 水分 5.1%, DAC 87.7%, キトサン収率 7.4%

⑦ キトサン 0.23kg を二重袋で包装(内袋：PE 袋、外袋：高防湿袋)。

製品ロット 250311SG、数量 0.23kg

■ 4 号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修

（学術委員会）

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修。

① 薬用植物研修

- ・開催日：令和6年4月20日（土）10:00～15:00
- ・場 所：都立小山内裏公園(東京都八王子市・町田市)
- ・講 師：南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：24 名

■ 5 号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施

(事務局)

- ・開催日：令和7年1月27日(月) 17:00~20:00
- ・会場：神田明神会館
- ・開会の挨拶：藤井 隆太会長
- ・新年のご挨拶：武見 敬三様(参議院議員) 代理 秘書 畠山 美恵子様、自見 はなこ様(参議院議員)、樋口高顕様(千代田区長)、小池 百合子様(東京都知事)、岩月 進様(日本薬剤師会会長)、堀内 満也様(八峰町長)、松田 知己様(美郷町長)、永松 悟様(杵築市長)、後藤 雄次様(東京都医薬品登録販売者協会会長)
- ・閉会の挨拶：金原 徳典最高顧問
- ・参加者：110名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

(事務局)

「薬と健康の週間」(東京都) 行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力。

- ・開催日：令和6年10月17日(木)
- ・場所：薬祖神社
通常例年例大祭時に行っているいけばな展・標本展、子供囃子の各祭事は中止。
- ・参加者：1,850名

II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	1回	6月						
臨時総会	1回	8月						
理事会	2回	6月	3月					
会計、業務監査	1回	5月						
総務委員会	2回	5月	2月					
総務規程WG	1回	3月						
学術委員会	6回	4月	5月	8月	10月	12月	2月	
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月			
事業管理委員会	3回	5月	11月	2月				
薬用植物国内栽培事業委員会	2回	4月	2月					

III. 会員数及び入退会

1. 期首会員数：140名
2. 期末会員数：143名

3. 入会(7件)

法人正会員：1名(美康堂生薬日本(株))

個人正会員：4名

サポーター：2名

4. 退会（4件）

法人正会員：1名（株式会社シミックホールディングス）

個人正会員：2名

サポーター：1名